

第 3 章

事業内容

第1 監視・指導

当係が所掌する2か所3卸売市場の食品関係営業施設122施設(245業種)に対し、延べ4,771施設の監視を実施した。

1 大宮市場における早朝監視指導

生鮮魚介類のせり売り営業が行われている大宮市場(埼玉県水産物地方卸売市場)について、午前3時30分から勤務につき、せり開始前に監視指導を行い、不良食品を排除し、事故の発生の未然防止に努めた。

(1) 生食用鮮魚介類の保存温度の遵守指導

放射温度計を用いて生食用鮮魚介類の品温を測定し、保存基準を遵守させることに努めた。

(2) 貝毒発生状況の把握について

貝類は春先から下痢性・麻痺性貝毒による毒化が見られ、各地沿岸で出荷団体により出荷自主規制される。規制等の動向を把握し安全証紙、採捕年月日及び生産海域等を確認し、ホタテガイ等の流通の安全確保に努めた。

(3) 生かき(生食用むき身、生食用殻付、加熱調理用むき身)について

生かき(まがき)は、例年10月初め頃から翌年3月頃まで流通している。これらに対しては、低温流通を指導するほか、生食用・加熱加工用の別、生食用のものにあつては採取された海域又は湖沼、加工所所在地・氏名及び加工年月日など、適正な表示がなされているかどうかの確認を行った。

(4) ふぐについて

ふぐは未処理またはいわゆる「身欠き」の状態を取り引きされており、種類別では大部分がトラフグで稀にカラス、シロサバフグ、クロサバフグ、ショウサイフグ、コモンフグ、マフグ、またはシマフグが入荷・販売されている。

これらふぐの取り扱いに関する規制は平成15年4月1日から「埼玉県ふぐの取扱いに関する条例」が施行されている。この条例に基づき、市場内に流通する未処理ふぐについては種類の鑑別を、身欠きふぐについては表示等により種類の確認を行い、有毒ふぐ等が流通しないよう事故防止に努めた。

また厚生省生活衛生局長通知により有明海及び橘湾、香川県及び岡山県瀬戸内海域で漁獲されるナシフグについては、有毒部位から筋肉部へのふぐ毒の移行を防止するための措置が適切に実施された場合は、販売を認めることとなった。これに伴い、不適切なナシフグの流通の防止に努めた。

2 浦和市場の監視指導

浦和市場では、せり売りが行われるのは青果物のみで、生鮮魚介類をはじめその他の加工食品は仲卸店舗で取り引きされている。

これらの仲卸店舗に対しては、食品等の衛生的な取り扱いや要冷蔵食品の温度管理、適正表示等食品衛生法の遵守を指導したほか、市場内の廃棄物処理施設の維持管理や場内清掃など卸売市場の清潔な環境維持についても指導を行った。

3 市場衛生ニュースの発行

第1号～第6号 [通算 第103号～108号] (第5章に掲載)

営業届出制度についての情報、アニサキスに係る情報、ヒスタミン食中毒に関する情報、鶏肉料理をはじめとするカンピロバクター食中毒の注意喚起、ノロウイルス食中毒の発生状況に基づく注意喚起及びふぐの取り扱いについて市場衛生ニュースを作成して市場内関係業者に配布し、食品衛生知識の普及啓発を図った。

4 衛生教育

例年、市場内の衛生管理向上のため、卸売業者、仲卸業者、飲食店等食品衛生事業者を対象に食品衛生講習会を開催しているが、昨年度に引き続き本年度においても新型コロナウイルス感染症の流行状況を鑑み講習会の開催を見合わせ、各業者に HACCP に沿った衛生管理についての資料等を配布し個別に説明を行った。

第2 試験・検査

市場及び市内に流通する生鮮魚介類、野菜果実、加工食品等について、計 234 検体、延べ 16,421 項目について収去及び買上検査を実施したので、主な結果を後述する。

平成 23 年に発生した福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の漏えい等に伴い、令和 3 年度も引き続き市内を流通する農水産物の放射性物質検査を実施した。

また、監視指導の一環として、大宮市場内の活魚水槽水を対象に腸炎ビブリオ汚染実態調査を、卸売市場せり場を対象に衛生状況の確認の為にふき取り検査を実施した。

1 魚介類等の検査

(1) 魚介類の放射性物質検査

当市では平成 17 年度より日本海産魚介類を対象に放射能検査を実施してきた。平成 23 年度からは原発事故の発生を受け、東日本海域産の魚介類について放射性物質検査を実施している。令和 3 年度は 8 検体について検査を実施した。

結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

No	検体	産地	放射性セシウム (Cs134,Cs137 の合計)
1	すずき	福島県	<3.9Bq/kg
2	かつお	宮城県	<1.7Bq/kg
3	するめいか	宮城県	<4.0Bq/kg
4	するめいか	宮城県	<3.2Bq/kg
5	ゆめかさご	茨城県	<8.6Bq/kg
6	まさば	千葉県	<3.9Bq/kg
7	むしがれい	茨城県	<4.4Bq/kg
8	まさば	千葉県	<4.8Bq/kg

検査機器：ゲルマニウム半導体検出器

(2) 魚介類の微生物検査

生食用かき 3 検体、生食用鮮魚介類 13 検体について、微生物検査を実施した。
結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

ア 生食用かきの微生物検査

No	検体	産地	細菌数	E.coli 最確数	腸炎ビブリオ最確数
1	生食用かき	兵庫県	< 300/g	< 18/100g	< 3.0/g
2	生食用かき	宮城県	< 300/g	< 18/100g	< 3.0/g
3	生食用かき	宮城県	< 300/g	< 18/100g	< 3.0/g

イ 生食用鮮魚介類の微生物検査

No	検体	産地	腸炎ビブリオ最確数
1	きびなご刺身	熊本県	< 3.0/g
2	ほや	宮城県	< 3.0/g
3	ほたて貝柱	宮城県	< 3.0/g
4	うに	北海道	< 3.0/g
5	ほや	宮城県	< 3.0/g
6	ほたて貝柱	宮城県	< 3.0/g
7	ほたて貝柱	宮城県	< 3.0/g
8	うに	北海道	< 3.0/g
9	うに	北海道	< 3.0/g
10	きびなご刺身	熊本県	< 3.0/g
11	ほや	宮城県	< 3.0/g
12	ほや	宮城県	< 3.0/g
13	うに	北海道	< 3.0/g

(3) 魚介類の貝毒検査

二枚貝 7 検体について、麻痺性貝毒検査を実施した。

結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

No	検体	産地	麻痺性貝毒
1	あかがい	中国	2MU/g 未満
2	しじみ	島根県	2MU/g 未満
3	はまぐり	千葉県	2MU/g 未満
4	しじみ	茨城県	2MU/g 未満
5	はまぐり	千葉県	2MU/g 未満
6	あさり	熊本県	2MU/g 未満
7	かき	宮城県	2MU/g 未満

(4) 魚介類の理化学検査

魚介類 4 検体について有機スズ (TBTO 及び TPT) の検査、7 検体について残留動物用医薬品検査を実施した。

結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

ア 有機スズ (TBTO 及び TPT) の検査

No	検体	産地	TBTO	TPT
1	ひらめ	韓国	不検出	0.004ppm
2	まだい	熊本県	不検出	不検出
3	かんぱち	鹿児島県	不検出	0.007ppm
4	まだい	愛媛県	不検出	不検出

※TBTO 及び TPT の定量下限値：0.004ppm

※昭和 60 年 4 月 26 日衛乳第 18 号「魚介類中のビストリブチルスズオキシド(TBTO)について」及び平成 6 年 2 月 25 日衛乳第 20 号「魚介類中の有機スズ化合物について」に基づき検査を実施した。通知では、規制値が定められていないため検査結果は参考値として扱った。

イ 残留動物用医薬品検査

No	検体	産地	残留動物用医薬品
1	ひらめ(49)	韓国	不検出
2	まだい(48)	熊本県	不検出
3	かんぱち(45)	鹿児島県	不検出
4	まだい(48)	愛媛県	不検出
5	生食用かき(52)	兵庫県	不検出
6	生食用かき(52)	宮城県	不検出
7	生食用かき(52)	宮城県	不検出

※検査項目詳細：36 ページ参照

(5) 魚介類加工品の理化学及び微生物検査

魚卵 2 検体、魚介乾製品（煮干含む） 9 検体、魚肉ねり製品 10 検体について添加物及び微生物検査を実施した。また、その他魚介類加工品 8 検体について添加物検査、3 検体について残留動物用医薬品検査を実施した。

結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

ア 魚卵の添加物検査

No	検体	着色料	甘味料	保存料	亜硝酸根
1	明太子	赤 3、赤 102、黄 5	不検出	不検出	0.0008g/kg
2	たらこ	赤 3、赤 102、黄 5	不検出	不検出	0.0009g/kg

※検査項目詳細：35 ページ参照

イ 魚介乾製品（煮干含む）の添加物検査

No	検体	着色料	甘味料	保存料	酸化防止剤
1	煮干	—	不検出	不検出	不検出
2	煮干	—	不検出	不検出	不検出
3	煮干	—	不検出	不検出	不検出
4	煮干	—	不検出	不検出	不検出
5	煮干	—	不検出	不検出	不検出
6	魚介乾製品	赤 102、黄 4	不検出	不検出	不検出
7	魚介乾製品	不検出	不検出	不検出	不検出
8	いかくん製品	不検出	不検出	ソルビン酸 1.3g/kg	不検出
9	魚介乾製品	不検出	不検出	不検出	不検出

※検査項目詳細：35 ページ参照

ウ 魚肉ねり製品の添加物及び微生物検査

No	検体	着色料	甘味料	保存料	亜硝酸根	大腸菌群
1	焼ちくわ	不検出	不検出	不検出	—	陰性
2	はんぺん	不検出	不検出	ソルビン酸 1.7g/kg	—	陰性
3	揚かまぼこ	不検出	不検出	不検出	—	陰性
4	揚かまぼこ	不検出	不検出	不検出	—	陰性
5	焼ちくわ	不検出	不検出	不検出	—	陰性
6	揚かまぼこ	不検出	不検出	不検出	不検出	陰性
7	揚かまぼこ	不検出	不検出	不検出	不検出	陰性
8	揚かまぼこ	不検出	不検出	不検出	不検出	陰性
9	焼ちくわ	不検出	不検出	不検出	不検出	陰性
10	揚かまぼこ	不検出	不検出	不検出	不検出	陰性

※検査項目詳細：35 ページ参照

エ その他魚介類加工品の添加物検査

No	検体	着色料	甘味料	保存料
1	うなぎ蒲焼	不検出	不検出	不検出
2	うなぎ蒲焼	不検出	不検出	不検出
3	うなぎ蒲焼	不検出	不検出	不検出
4	魚介類加工品	不検出	不検出	不検出
5	魚介類加工品	黄4、黄5	不検出	不検出
6	魚介類加工品	不検出	不検出	不検出
7	魚介類加工品	不検出	不検出	不検出
8	魚介類加工品	不検出	不検出	不検出

※検査項目詳細：35 ページ参照

オ その他魚介類加工品の残留動物用医薬品検査

No.	検体 (検査項目数)	産地	残留動物用医薬品
1	うなぎ蒲焼(52)	中国	不検出
2	うなぎ蒲焼(52)	静岡県	不検出
3	うなぎ蒲焼(52)	中国	不検出

※検査項目詳細：36 ページ参照

2 野菜・果実類の検査

(1) 野菜・果実の放射性物質検査

令和3年度は、卸売市場に流通する県外産農産物を収去し、野菜類12検体の放射性物質検査を実施した。結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

No	検体	産地	放射性セシウム (Cs134,Cs137の合計)
1	キャベツ	茨城県	<2.2Bq/kg
2	きゅうり	茨城県	<3.7Bq/kg
3	ピーマン	青森県	<5.0Bq/kg
4	なす	群馬県	<3.8Bq/kg
5	だいこん	青森県	<5.9Bq/kg
6	キャベツ	群馬県	<1.7Bq/kg
7	なす	群馬県	<4.8Bq/kg
8	ねぎ	茨城県	<4.6Bq/kg
9	キャベツ	神奈川県	<1.4Bq/kg
10	はくさい	茨城県	<1.7Bq/kg
11	ねぎ	茨城県	<5.3Bq/kg
12	かき菜	栃木県	<4.8Bq/kg

検査機器：ゲルマニウム半導体検出器

(2) 野菜・果実の理化学検査

ア 野菜・果実の残留農薬検査

野菜・果実 42 検体について残留農薬検査を実施した。結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

No	検体 (検査項目数)	産地 (検体数)	残留農薬
1	えだまめ	群馬県(1)	不検出
2	(239)	山形県(1)	ジメトモルフ 0.13ppm
3	かぶ類の根 (227)	青森県(1)	不検出
4	かぶ類の葉 (214)	青森県(1)	テフルトリン 0.01ppm
5	かんしょ	茨城県(2)	不検出
6	(239)		不検出
7	キャベツ (228)	茨城県(1)	不検出
8		神奈川県(1)	不検出
9	きゅうり (192)	群馬県(1)	チアメトキサム 0.02ppm
10		千葉県(1)	不検出
11	こまつな (224)	茨城県(2)	不検出
12			ミクロブタニル 0.02ppm
13	だいこん類の根 (220)	埼玉県(1)	不検出
14		不検出	
15	トマト (234)	福島県(2)	イミダクロプリド 0.03ppm クレソキシムメチル 0.12ppm
16		群馬県(1)	クロチアニジン 0.14ppm フルフェノクスロン 0.43ppm
17	だいこん類の根 (220)	埼玉県(1)	アゾキシストロビン 0.71ppm フルフェノクスロン 0.38ppm
18		神奈川県(1)	不検出
19	だいこん類の根 (220)	千葉県(1)	不検出
20		群馬県(1)	不検出
21	トマト (234)	静岡県(2)	不検出
22			チアクロプリド 0.07ppm ルフェヌロン 0.01ppm

No	検体 (検査項目数)	産地 (検体数)	検出農薬
23		茨城県(1)	不検出
24			不検出
25	なす (228)	群馬県(3)	不検出
26			テブフェンピラド 0.02ppm イミダクロプリド 0.03ppm
27		高知県(1)	クロルフェナピル 0.02ppm
28	にんじん (217)	茨城県(1)	不検出
29		茨城県(1)	不検出
30	ねぎ (187)	群馬県(1)	不検出
31		山形県(1)	アゾキシストロビン 0.03ppm クロチアニジン 0.02ppm
32			不検出
33		茨城県(3)	フェンバレレート 0.05ppm イミダクロプリド 0.01ppm
34	はくさい (232)		ボスカリド 0.56ppm
35		群馬県(1)	イプロジオン 0.02ppm クロチアニジン 0.02ppm ボスカリド 0.02ppm
36		長野県(1)	チアメトキサム 0.02ppm
37	ブロッコリー (217)	埼玉県(1)	不検出
38		茨城県(1)	フルフェノクスロン 0.23ppm
39	ほうれんそう (236)	群馬県(2)	イミダクロプリド 0.43ppm フルフェノクスロン 0.69ppm
40			イミダクロプリド 0.48ppm クロチアニジン 0.13ppm フルフェノクスロン 0.08ppm
41	レタス (207)	茨城県(1)	不検出
42		長野県(1)	不検出

※検査項目詳細：37～39 ページ参照

イ 冷凍野菜の残留農薬検査

冷凍野菜 10 検体について残留農薬検査を実施した。結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

No	検体 (検査項目数)	産地 (検体数)	残留農薬
1	えだまめ (239)	中国(1)	不検出
2	かぼちゃ	中国(1)	不検出
3	(251)	北海道(1)	不検出
4	こまつな (224)	中国(1)	メトキシフェノジド 0.08pm
5	さといも類	中国(2)	不検出
6	(215)		不検出
7	とうもろこし (229)	北海道(1)	不検出
8	ブロッコリー (217)	エクアドル(1)	不検出
9	未成熟いんげん	タイ(2)	不検出
10	(211)		不検出

※検査項目詳細：37～39 ページ参照

ウ 輸入果実の残留農薬及び防かび剤の検査

輸入果実 6 検体について残留農薬及び防かび剤の検査を実施した。

結果は全て基準内であった。

(ア) 残留農薬検査

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

No	検体 (検査項目数)	産地 (検体数)	残留農薬
1	レモン (225)	アメリカ(2)	ブプロフェジン 0.03ppm フェンプロパトリン 0.02ppm プロピコナゾール 0.72ppm イミダクロプリド 0.04ppm
2			フェンプロパトリン 0.01ppm イミダクロプリド 0.01ppm
3	オレンジ	アメリカ(2)	不検出
4	(200)		ピリプロキシフェン 0.02ppm
5	グレープフルーツ	南アフリカ(2)	ピラクロストロビン 0.03ppm
6	(213)		ピリプロキシフェン 0.01ppm

(イ) 防かび剤検査

No	検体	産地 (検体数)	防かび剤
1	レモン	アメリカ(2)	チアベンダゾール 0.0005g/kg イマザリル 0.0012g/kg アゾキシストロビン 0.0006g/kg フルジオキシニル 0.0008g/kg
2			チアベンダゾール 0.0002g/kg イマザリル 0.0025g/kg フルジオキシニル 0.0020g/kg
3	オレンジ	アメリカ(2)	チアベンダゾール 0.0016g/kg イマザリル 0.0017g/kg
4			チアベンダゾール 0.0018g/kg イマザリル 0.0012g/kg
5	グレープフルーツ	南アフリカ(2)	チアベンダゾール 0.0016g/kg イマザリル 0.0013g/kg
6			チアベンダゾール 0.0013g/kg イマザリル 0.0024g/kg

※検査項目詳細：35、37～39 ページ参照

(3) 野菜類漬物の理化学検査

野菜類漬物 10 検体について添加物検査を実施した。結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

No	検体	着色料	甘味料	保存料
1	しょう油漬	赤 102 赤 106	不検出	不検出
2	しょう油漬	赤 102 黄 4 黄 5	サッカリンナトリウム 0.82g/kg	ソルビン酸 0.76g/kg
3	しょう油漬	赤 102 赤 106 黄 4	不検出	不検出
4	たくあん漬	不検出	不検出	不検出
5	しょう油漬	赤 102 赤 106 黄 4 黄 5	不検出	ソルビン酸 0.29g/kg
6	みそ漬	赤 102 赤 106 黄 4 黄 5	不検出	ソルビン酸 0.70g/kg
7	酢漬	赤 102	不検出	ソルビン酸 0.22g/kg
8	酢漬	赤 106	不検出	ソルビン酸 0.25g/kg
9	しょう油漬	黄 4 黄 5	不検出	ソルビン酸 0.27g/kg
10	たくあん漬	黄 4	サッカリンナトリウム 0.45g/kg	ソルビン酸 0.20g/kg

※検査項目詳細：35 ページ参照

3 その他の食品等の検査

(1) 食肉の理化学検査

食肉 10 検体について残留動物用医薬品検査を実施した。結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

No	検体 (検査項目数)	産地	残留動物用医薬品
1	鶏の筋肉 (51)	青森県	不検出
2	鶏の筋肉 (51)	青森県	不検出
3	鶏の筋肉 (51)	佐賀県	不検出
4	鶏の砂肝 (46)	岩手県	不検出
5	鶏の筋肉 (51)	佐賀県	不検出
6	豚の筋肉 (47)	埼玉県	不検出
7	牛の筋肉 (51)	埼玉県	不検出
8	牛の筋肉 (51)	埼玉県	不検出
9	豚の筋肉 (47)	埼玉県	不検出
10	豚の筋肉 (47)	埼玉県	不検出

※検査項目詳細：36 ページ参照

(2) 食肉製品の微生物及び理化学検査

食肉製品 8 検体について、微生物及び添加物検査を実施した。

結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

ア 微生物検査

No	検体	黄色ブドウ球菌	E.coli	大腸菌群	クロストリジウム属菌	サルモネラ属菌	リステリア・モノサイトゲネス
1	加熱後包装食肉製品	0/g	陰性	—	—	陰性/25g	—
2	加熱後包装食肉製品	0/g	陰性	—	—	陰性/25g	—
3	加熱後包装食肉製品	0/g	陰性	—	—	陰性/25g	—
4	包装後加熱食肉製品	—	—	陰性	30 未満/g	—	—
5	加熱後包装食肉製品	0/g	陰性	—	—	陰性/25g	—
6	非加熱食肉製品	0/g	10 以下/g	—	—	陰性/25g	100 以下/g
7	包装後加熱食肉製品	—	—	陰性	30 未満/g	—	—
8	非加熱食肉製品	0/g	10 以下/g	—	—	陰性/25g	100 以下/g

イ 添加物検査

No	検体	保存料	甘味料	着色料	亜硝酸根
1	加熱後包装食肉製品	不検出	不検出	不検出	0.007g/kg
2	加熱後包装食肉製品	不検出	不検出	不検出	0.011g/kg
3	加熱後包装食肉製品	不検出	不検出	不検出	0.021g/kg
4	包装後加熱食肉製品	ソルビン酸 1.2g/kg	不検出	不検出	0.029g/kg
5	加熱後包装食肉製品	不検出	不検出	不検出	0.023g/kg
6	非加熱食肉製品	ソルビン酸 0.91g/kg	不検出	不検出	0.007g/kg
7	包装後加熱食肉製品	不検出	不検出	不検出	0.011g/kg
8	非加熱食肉製品	不検出	不検出	不検出	0.007g/kg

※検査項目詳細：35 ページ参照

(3) 清涼飲料水の微生物及び理化学検査

清涼飲料水 10 検体について微生物、添加物及び重金属の検査を実施した。
結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

No	検体	保存料	甘味料	着色料	重金属 (ヒ素、鉛)	大腸菌群
1	清涼飲料水	不検出	不検出	不検出	不検出	陰性
2	清涼飲料水	不検出	不検出	不検出	不検出	陰性
3	清涼飲料水	不検出	アセスルファムカリウム 0.05g/kg	不検出	不検出	陰性
4	清涼飲料水	不検出	不検出	不検出	不検出	陰性
5	清涼飲料水	不検出	不検出	不検出	不検出	陰性
6	清涼飲料水	不検出	不検出	不検出	不検出	陰性
7	清涼飲料水	不検出	不検出	不検出	不検出	陰性
8	清涼飲料水	不検出	不検出	不検出	不検出	陰性
9	清涼飲料水	不検出	不検出	不検出	不検出	陰性
10	清涼飲料水	不検出	不検出	不検出	不検出	陰性

※検査項目詳細：35 ページ参照

(4) そうざいの理化学検査

そうざい 10 検体について、添加物検査を実施した。結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

No	検体	保存料	甘味料	着色料
1	煮物 (野菜類加工品)	不検出	不検出	不検出
2	煮物 (野菜類加工品)	不検出	不検出	不検出
3	あえ物 (野菜類加工品)	不検出	不検出	不検出
4	あえ物 (野菜類加工品)	不検出	不検出	不検出
5	煮物 (魚介類加工品)	不検出	不検出	不検出
6	煮物 (野菜類加工品)	不検出	不検出	不検出
7	煮物 (魚介類加工品)	不検出	不検出	不検出
8	煮物 (魚介類加工品)	不検出	不検出	不検出
9	煮物 (野菜類加工品)	不検出	不検出	黄 4、青 1
10	煮物 (野菜類加工品)	不検出	不検出	不検出

※検査項目詳細：35 ページ参照

(5) アイスクリーム類の微生物及び理化学検査

アイスクリーム類 3 検体について微生物及び添加物検査を実施した。

結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

No	検体	保存料	甘味料	着色料	細菌数	大腸菌群
1	アイスマイルク	不検出	不検出	不検出	< 300/g	陰性
2	アイスマイルク	不検出	不検出	不検出	< 300/g	陰性
3	ラクトアイス	不検出	不検出	不検出	< 300/g	陰性

※検査項目詳細：35 ページ参照

(6) 生めんの理化学検査

生めん 4 検体について、添加物検査を実施した。

結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

No	検体	プロピレングリコール
1	生中華めん	0.71%
2	生中華めん	0.90%
3	生中華めん	0.67%
4	生中華めん	0.73%

(7) その他の食品の微生物検査

冷凍食品 16 検体、氷雪 2 検体、容器包装詰加圧加熱殺菌食品 10 検体について、微生物検査を実施した。結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

ア 冷凍食品の微生物検査

No	検体	細菌数	E.coli	大腸菌群
1	凍結前未加熱加熱後摂取冷凍食品	< 3,000/g	陰性	—
2	無加熱摂取冷凍食品	< 3,000/g	—	陰性
3	凍結前加熱加熱後摂取冷凍食品	< 3,000/g	—	陰性
4	凍結前加熱加熱後摂取冷凍食品	< 3,000/g	—	陰性
5	凍結前加熱加熱後摂取冷凍食品	< 3,000/g	—	陰性
6	凍結前未加熱加熱後摂取冷凍食品	< 3,000/g	陰性	—
7	凍結前加熱加熱後摂取冷凍食品	< 3,000/g	—	陰性
8	凍結前加熱加熱後摂取冷凍食品	< 3,000/g	—	陰性
9	凍結前加熱加熱後摂取冷凍食品	< 3,000/g	—	陰性
10	凍結前未加熱加熱後摂取冷凍食品	< 3,000/g	陰性	—
11	凍結前未加熱加熱後摂取冷凍食品	< 3,000/g	陰性	—
12	凍結前加熱加熱後摂取冷凍食品	< 3,000/g	—	陰性
13	凍結前未加熱加熱後摂取冷凍食品	< 3,000/g	陰性	—
14	凍結前未加熱加熱後摂取冷凍食品	< 3,000/g	陰性	—
15	凍結前加熱加熱後摂取冷凍食品	< 3,000/g	—	陰性
16	凍結前加熱加熱後摂取冷凍食品	< 3,000/g	—	陰性

イ 氷雪の微生物検査

No	検体	細菌数	大腸菌群
1	氷雪	< 30/ml	陰性
2	氷雪	< 30/ml	陰性

ウ 容器包装詰加圧加熱殺菌食品の微生物検査

No	検体	発育し得る微生物
1	レトルトパウチ食品	陰性
2	レトルトパウチ食品	陰性
3	レトルトパウチ食品	陰性
4	レトルトパウチ食品	陰性
5	レトルトパウチ食品	陰性
6	レトルトパウチ食品	陰性
7	レトルトパウチ食品	陰性
8	レトルトパウチ食品	陰性
9	レトルトパウチ食品	陰性
10	レトルトパウチ食品	陰性

(8)その他の食品の理化学検査

鶏卵 4 検体、寒天 3 検体、即席めん類 5 検体、割りばし 5 検体について、理化学検査を実施した。結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

ア 鶏卵の理化学検査

No	検体 (検査項目数)	産地	残留動物用医薬品
1	鶏の卵 (46)	岩手県	不検出
2	鶏の卵 (46)	国産	不検出
3	鶏の卵 (46)	青森県	不検出
4	鶏の卵 (46)	岩手県	不検出

※検査項目詳細：36 ページ参照

イ 寒天の理化学検査

No	検体	ホウ酸
1	粉末寒天	0.33g/kg
2	粉末寒天	0.33g/kg
3	粉末寒天	0.13g/kg

ウ 即席めん類の理化学検査

No	検体	酸価	過酸化物価
1	即席めん	0.68	5.6meq/kg
2	即席めん	0.14	8.0meq/kg
3	即席めん	0.21	6.3meq/kg
4	即席めん	0.28	7.2meq/kg
5	即席めん	0.43	6.3meq/kg

エ 割りばしの理化学検査

No	検体	漂白剤 (二酸化硫黄・亜硫酸塩類)	防かび剤 (OPP,TBZ,DP,イマザリル)
1	割りばし	不検出	不検出
2	割りばし	不検出	不検出
3	割りばし	0.36mg/1 膳	不検出
4	割りばし	不検出	不検出
5	割りばし	不検出	不検出

4 現場検査

市場内監視指導の一環として、活魚水槽水の腸炎ビブリオ汚染実態調査、卸売市場せり場の衛生実態調査を行い、結果に基づき助言及び指導を行った。

(1) 活魚水槽水の腸炎ビブリオ汚染実態調査

卸売業者が所有する活魚水槽の水槽水について、腸炎ビブリオ最確数の検査を実施し、結果に基づき衛生指導を行った。

実施期間：令和3年7月、8月

検査機関：市場監視係(水温及び塩分濃度)

さいたま市健康科学研究センター（腸炎ビブリオ最確数）

水槽名	検査項目	7月	8月
仕分け水槽	水温 (°C)	17.1	16.1
	塩分濃度 (%)	3.0	2.8
	腸炎ビブリオ最確数	3 未満/100mL	3 未満/100mL
新水槽	水温 (°C)	15.9	15.1
	塩分濃度 (%)	3.0	2.8
	腸炎ビブリオ最確数	3 未満/100mL	3 未満/100mL
せり用水槽 1	水温 (°C)	17.2	16.2
	塩分濃度 (%)	3.0	2.8
	腸炎ビブリオ最確数	3 未満/100mL	3 未満/100mL
せり用水槽 2	水温 (°C)	16.6	16.2
	塩分濃度 (%)	3.0	2.8
	腸炎ビブリオ最確数	3 未満/100mL	3 未満/100mL
仲卸用水槽	水温 (°C)	21.8	20.6
	塩分濃度 (%)	1.8	2.8
	腸炎ビブリオ最確数	3 未満/100mL	3 未満/100mL

卸売業者所有

(2) 卸売市場せり場の衛生実態調査

監視指導の一環として、マグロ低温せり場施設内のふき取り検査を実施し、衛生状態の把握及び結果に基づく衛生指導を行った。

実施月：令和3年10月、令和4年2月

検体採取場所：マグロ低温せり場内の床、マグロ台、石鹼ポンプヘッド等 21 か所

検体数：計 42 検体

項目：細菌数、大腸菌群

5 理化学検査項目詳細

着色料：26 項目

青色 1 号、青色 2 号、赤色 2 号、赤色 3 号、赤色 40 号、赤色 102 号、赤色 104 号、赤色 105 号、赤色 106 号、緑色 3 号、黄色 4 号、黄色 5 号、ポンソー3R、ポンソーSX、ポンソーR、エオシン、ナフトールイエローS、ライトグリーンSF黄色、オレンジⅠ、オレンジⅡ、マーチウスイエローS、ウラニン、ギネアグリーンB、ブリリアントミリンググリーン、アズールブルーVX、アシッドバイオレット 6B

甘味料：2 項目

サッカリンナトリウム、アセスルファムカリウム

保存料：3 項目

ソルビン酸、安息香酸、デヒドロ酢酸ナトリウム

酸化防止剤：5 項目

BHT（ジブチルヒドロキシトルエン）、BHA（ブチルヒドロキシアニソール）、没食子酸プロピル、没食子酸オクチル、NDGA（ノルジヒドログアヤレチック酸）

防かび剤：7 項目

アゾキシストロビン、イマザリル、オルトフェニルフェノール（OPP）、ジフェニル（DP）、チアベンダゾール（TBZ）、ピリメタニル、フルジオキシニル

残留動物用医薬品、残留農薬（次ページ）

令和3年度 残留動物用医薬品検査実施項目

番号	項目名	番号	項目名
1	2-アセチルアミノ-5-ニトロチアゾール	31	スルファメトキシピリダジン
2	アルベンダゾール代謝物	32	スルファメラジン
3	エトパベート	33	スルファモノメトキシ
4	エリスロマイシン	34	タイロシン
5	エンロフロキサシン (シプロフロキサシンを含む)	35	ダノフロキサシン
6	オキシテトラサイクリン(魚介類)	36	チアベンダゾール(チアベンダゾール代謝物を含む)
7	テトラサイクリン・オキシテトラサイクリン・ク ロルテトラサイクリン(畜産物)	37	チアムリン
8	オキシベンダゾール	38	チアンフェニコール
9	オキシリン酸	39	チルミコシン
10	オフロキサシン	40	トリクロルフォン
11	オルビフロキサシン	41	トリペレナミン
12	オルメトプリム	42	トリメトプリム
13	キシラジン	43	ナリジクス酸
14	クロキサシリン	44	ピランテル
15	クロピドール	45	ピリメタミン
16	ジアベリジン	46	ピロミド酸
17	ジフルベンズロン	47	ファムフル
18	スピラマイシン(ネオスピラマイシンを含む)	48	フェノキシメチルペニシリン
19	スルファキノキサリン	49	フェノブカルブ
20	スルファクロルピリダジン	50	フルニキシ
21	スルファジアジン	51	フルベンダゾール
22	スルファジミジン	52	フルメキュイン
23	スルファジメトキシ	53	ベンジルペニシリン
24	スルファセタミド	54	ミロキサシン
25	スルファチアゾール	55	メベンダゾール
26	スルファドキシ	56	モネンシン
27	スルファニトラン	57	リファキシミン
28	スルファピリジン	58	リンコマイシン
29	スルファベンザミド	59	レバミゾール
30	スルファメトキサゾール	60	酢酸メレンゲステロール

令和3年4月1日時点

令和3年度 残留農薬検査実施項目

番号	項目名	番号	項目名
1	2-(1-ナフチル)アセタミド	51	カフェンストロール
2	BHC	52	カルバリル
3	DDT	53	カルフェントラゾンエチル
4	EPN	54	カルプロパミド
5	TCMTB	55	カルボスルファン
6	XMC	56	カルボフェノチオン
7	アクリナトリン	57	カルボフラン
8	アザコナゾール	58	キシリルカルブ
9	アザメチホス	59	キナルホス
10	アジンホスエチル	60	キノキシフェン
11	アジンホスメチル	61	キャプタン
12	アゾキシストロビン	62	キントゼン
13	アトラジン	63	クミルロン
14	アニロホス	64	クレソキシムメチル
15	アミノカルブ	65	クロキントセットメキシル
16	アメトリン	66	クロゾリネート
17	アラクロール	67	クロチアニジン
18	アルドリン及びディルドリン	68	クロマゾン
19	イサゾホス	69	クロマフェノジド
20	イソカルボホス	70	クロリダゾン
21	イソキサチオン	71	クロルタールジメチル
22	イソキサフルトール	72	クロルピリホス
23	イソプロカルブ	73	クロルピリホスメチル
24	イソプロチオラン	74	クロルフェナピル
25	イプロジオン	75	クロルフェンソン
26	イプロバリカルブ	76	クロルフェンビンホス
27	イプロベンホス	77	クロルブファム
28	イマザメタベンズメチルエステル	78	クロルプロファム
29	イマザリル	79	クロルベンシド
30	イミダクロプリド	80	クロロクスロン
31	インダノファン	81	クロロベンジレート
32	インドキサカルブ	82	サリチオン
33	エスプロカルブ	83	シアナジン
34	エタルフルラリン	84	シアノフェンホス
35	エチオフェンカルブ	85	シアノホス
36	エチオン	86	ジウロン
37	エディフェンホス	87	ジエトフェンカルブ
38	エトフェンプロックス	88	ジオキサカルブ
39	エトプロホス	89	ジオキサチオン
40	エポキシコナゾール	90	ジクロシメット
41	エンドスルファン	91	ジクロトホス
42	エンドリン	92	ジクロフェンチオン
43	オキサジアゾン	93	ジクロブトラゾール
44	オキサジキシル	94	ジクロフルアニド
45	オキサジクロメホン	95	ジクロホップメチル
46	オキサミル	96	ジクロラン
47	オキシカルボキシン	97	ジチオピル
48	オキシフルオルフェン	98	シハロトリン
49	オリザリン	99	シハロホップブチル
50	カズサホス	100	ジフェナミド

番号	項目名	番号	項目名
101	ジフェノコナゾール	151	トリフルラリン
102	シフルトリン	152	トリフロキシストロビン
103	シフルフェナミド	153	トリメタカルブ
104	シプロコナゾール	154	トルクロホスメチル
105	シベルメトリン	155	トルフェンピラド
106	シマジン	156	ナプロアニリド
107	シメコナゾール	157	ナプロパミド
108	ジメタメトリン	158	ニトロタールイソプロピル
109	ジメチピン	159	ノバルロン
110	ジメチリモール	160	パクロブトラゾール
111	ジメチルビンホス	161	パラチオン
112	ジメテナミド	162	パラチオンメチル
113	ジメトエート	163	ハルフェンプロックス
114	ジメトモルフ	164	ビフェノックス
115	シメトリン	165	ビフェントリン
116	ジメピペレート	166	ピペロニルブトキシド
117	シラフルオフエン	167	ピペロホス
118	スピノサド	168	ピラクロストロビン
119	スピロジクロフェン	169	ピラクロホス
120	スルプロホス	170	ピラゾホス
121	ゾキサミド	171	ピラゾリネート
122	ターバシル	172	ピラフルフェンエチル
123	ダイアジノン	173	ピリダフェンチオン
124	ダイムロン	174	ピリダベン
125	チアクロプリド	175	ピリフェノックス
126	チアメトキサム	176	ピリフタリド
127	チオベンカルブ	177	ピリブチカルブ
128	チオメトン	178	ピリプロキシフェン
129	チフルザミド	179	ピリミカーブ
130	テクナゼン	180	ピリミジフェン
131	テトラクロルビンホス	181	ピリミノバック-メチル
132	テトラコナゾール	182	ピリミホスメチル
133	テトラジホン	183	ピロキロン
134	テニルクロール	184	ビンクロゾリン
135	テブコナゾール	185	フィプロニル
136	テブチウロン	186	フェナミホス
137	テブフェノジド	187	フェナリモル
138	テブフェンピラド	188	フェニトロチオン
139	テフルトリン	189	フェノキサニル
140	テフルベンズロン	190	フェノキシカルブ
141	デメトン-S-メチル	191	フェノチオカルブ
142	テルブカルブ	192	フェノブカルブ
143	テルブトリン	193	フェリムゾン
144	テルブホス	194	フェンアミドン
145	トリアジメホン	195	フェンクロルホス
146	トリアゾホス	196	フェンスルホチオン
147	トリアレート	197	フェントエート
148	トリチコナゾール	198	フェンバレレート
149	トリブホス	199	フェンピロキシメート
150	トリフルムロン	200	フェンブコナゾール

番号	項目名	番号	項目名
201	フェンプロパトリン	251	ペンコナゾール
202	フェンプロピモルフ	252	ペンシクロン
203	フェンメディファム	253	ベンゾフェナップ
204	フォノホス	254	ベンダイオカルブ
205	フサライド	255	ペンディメタリン
206	ブタクロール	256	ベンフラカルブ
207	ブタフェナシル	257	ベンフルラリン
208	ブタミホス	258	ベンフレセート
209	ブピリメート	259	ホサロン
210	ブプロフェジン	260	ボスカリド
211	フラチオカルブ	261	ホスチアゼート
212	フラムプロップメチル	262	ホスファミドン
213	フルアクリピリム	263	ホスメット
214	フルキンコナゾール	264	ホルモチオン
215	フルジオキシニル	265	ホレート
216	フルシトリネート	266	マラチオン
217	フルシラゾール	267	ミクロブタニル
218	フルチアセットメチル	268	メカルバム
219	フルトラニル	269	メタベンズチアズロン
220	フルトリアホール	270	メチダチオン
221	フルバリネート	271	メトキシクロール
222	フルフェノクスロン	272	メトキシフェノジド
223	フルフェンピルエチル	273	メトミノストロビン
224	フルミオキサジン	274	メトラクロール
225	フルミクロラックペンチル	275	メビンホス
226	フルリドン	276	メフェナセット
227	プレチラクロール	277	メフェンピル-ジエチル
228	プロシミドン	278	メプロニル
229	プロチオホス	279	モノクロトホス
230	プロパキザホップ	280	モノリニューロン
231	プロパジン	281	ラクトフェン
232	プロパホス	282	リニューロン
233	プロピコナゾール	283	ルフェヌロン
234	プロピザミド		
235	プロフェノホス		
236	プロボキスル		
237	ブロマシル		
238	プロメカルブ		
239	プロメトリン		
240	ブロモプロピレート		
241	ブロモホス		
242	ブロモホスエチル		
243	ヘキサコナゾール		
244	ヘキサジノン		
245	ヘキサフルムロン		
246	ヘキシチアゾクス		
247	ベナラキシル		
248	ベノキサコール		
249	ヘプタクロル		
250	ペルメトリン		

令和3年4月1日時点

第3 行政処分等

立入検査により、違反施設等 16 件及び違反食品等 12 件を発見した。

1 違反施設等

違反条項	違反内容	総数	大宮	浦和	措置
法第 51 条第 2 項	公衆衛生上必要な措置	14	6	8	口頭指導
法第 55 条第 1 項	無許可営業	2	2	0	口頭指導
合 計		16	8	8	

2 違反食品等

(1) 監視時に発見した違反食品等

違反条項	違反内容	総数	大宮	浦和	措置
法第 6 条	消費期限切等	5	5	0	口頭指導
食品表示法第 5 条 (衛生事項)	無表示等	7	0	7	口頭指導
合 計		12	5	7	

(2) 収去等検査により違反が判明した食品

特筆すべき事例はありませんでした。

(3) 相談事例等

特筆すべき事例はありませんでした。